

## 職業実践専門課程の基本情報について

学 校 名	設置認可年月日	校 長 名	所 在 地			
日本理工情報専門学校	昭和52年4月1日	瓶井 修	〒533-0015 大阪市東淀川区大隅 1-1-25 (電話) 06-6329-6553			
設 置 者 名	設立認可年月日	代 表 者 名	所 在 地			
学校法人瓶井学園	昭和58年9月26日	瓶井 剛	〒533-0011 大阪市東淀川区大桐 2 丁目 6-6 (電話) 06-6329-6553			
目 的	工事担任者DD第一種が取得でき電子回路技術を習得して、その資格・技術を活かせる職業に就くことができる技術者の育成を目的としている					
分野	課程名	学科名	修業年限 (昼、夜別)	全課程の修了に必要な総授業時数又は総単位数	専門士の付与	高度専門士の付与
工業	工業専門課程	電子情報工学科 Aコース	2年(昼間部)	2808単位時間 (又は単位)	平成19年文部科学 大臣告示21号	
教育課程	講義	演習	実験	実習	実技	
	2184単位時間 (又は単位)	390単位時間 (又は単位)	390単位時間 (又は単位)	663単位時間 (又は単位)	単位時間 (又は単位)	
生徒総定員	生徒実員	専任教員数	兼任教員数	総教員数		
40人	1人	2人	9人	11人		
学期制度	■前期：4月1日～9月30日 ■後期：10月1日～3月31日 ■			成績評価	■成績表 (有・無) ■成績評価の基準・方法について 年間4回の定期試験 実習・演習の評価	
長期休み	■学年始め：4月15日 ■夏 季：7月21日～8月31日 ■冬 季：12月25日～1月7日 ■学 年 末：3月15日 ■学年始め：			卒業・進級条件	履修科目の全単位取得	
生徒指導	■クラス担任制 (有・無) ■長期欠席者への指導等の対応 電話連絡・警告文送付・保護者懇談			課外活動	■課外活動の種類 電力施設見学 ■サークル活動 (有・無)	
就職等の状況	■主な就職先、業界等  ■就職率 <sup>※1</sup> % ■卒業者に占める就職者の割合 <sup>※2</sup> % ■その他(任意)  (平成28年度卒業者に関する平成29年3月時点の情報)			主な資格・検定	工事担任者DD第一種	

中途退学の現状	<p>■中途退学者 0名 ■中退率 0%</p> <p>平成28年4月 1日在学者 1名 (平成28年4月入学者を含む)</p> <p>平成29年3月31日在学者 1名 (平成29年3月卒業者を含む)</p> <p>■中途退学の主な理由</p> <p>■中退防止のための取組</p> <p>1時間目に欠席学生の自宅に電話し登校を促す。成績不振の学生への補習授業の実施 退学希望の学生に対し担任・責任者等3名以上が順に面談し翻意を促す</p>
ホームページ	URL: <a href="http://www.nrj.ac.jp">http://www.nrj.ac.jp</a>

※1「大学・短期大学・高等専門学校及び専修学校卒業予定者の就職（内定）状況調査」の定義による。

- ①「就職率」については、就職希望者に占める就職者の割合をいい、調査時点における就職者数を就職希望者で除したものとする。
- ②「就職率」における「就職者」とは、正規の職員（1年以上の非正規の職員として就職した者を含む）として最終的に就職した者（企業等から採用通知などが出された者）をいう。
- ③「就職率」における「就職希望者」とは、卒業年度中に就職活動を行い、大学等卒業後速やかに就職することを希望する者をいい、卒業後の進路として「進学」「自営業」「家事手伝い」「留年」「資格取得」などを希望する者は含まない。

※「就職（内定）状況調査」における調査対象の抽出のための母集団となる学生等は、卒業年次に在籍している学生等としている。ただし、卒業の見込みのない者、休学中の者、留学生、聴講生、科目等履修生、研究生及び夜間部、医学科、歯学科、獣医学科、大学院、専攻科、別科の学生は除いている。

※2「学校基本調査」の定義による。

全卒業者数のうち就職者総数の占める割合をいう。

「就職」とは給料、賃金、報酬その他経常的な収入を得る仕事に就くことをいう。自家・自営業に就いた者は含めるが、家事手伝い、臨時的な仕事に就いた者は就職者とはしない（就職したが就職先が不明の者は就職者として扱う。）

## 1. 教育課程の編成

(教育課程の編成における企業等との連携に関する基本方針)

岡本無線電機株式会社等の企業においてヒヤリングを行い教育課程編成委員会に諮り、企業のニーズに応える事ができる人材の育成に必要な内容を授業に反映させている。また、企業による実務に必要な知識習得のための演習や現場における体験実習を重視し授業科目に組み入れ易くするため授業時間割を1カ月ごとに組み替えるようにしている。

(教育課程編成委員会等の全委員の名簿)

平成29年5月26日現在

名前	所属
清水 政仁	一般社団法人情報通信エンジニアリング協会
糸尾 武則	自動車整備振興会高槻・三島地区会
宮崎 雄次	大阪府電気工事工業組合
上田 茂久	公益社団法人 大阪府建築士会
小西 敏仁	ネッツトヨタニューリー北大阪株式会社
宮崎 吉雄	トナミ電工(株)
宮崎 一郎	トナミ電工(株)
増南 正	(有) スタジオ・マックス
石上 芳弘	イシウエヨシヒロ建築設計事務所
井端 賢次	テクノメック合資会社
篠原 史規	(有) 車楽工房
西口 良一	東洋ビルメンテナンス株式会社
中野 聡	株式会社ジェイファスト

(開催日時)

平成28年度

平成29年度

第1回 平成28年4月2日 13:30~14:50

第1回 平成29年4月8日 13:30~14:50

第2回 平成28年11月5日 13:30~14:50

## 2. 主な実習・演習等

(実習・演習等における企業等との連携に関する基本方針)

実務に必要な知識習得のための演習や現場における体験実習をできる限り組み入れ、学生が就業するであろう業界の実務の仕組みや技術レベルを知り、より適性のある職業を学生が選択でき実社会で活躍できることを望んでいる。

科目名	科目概要	連携企業等
演習	工業用ロボットについて操作、保守、点検に関して小型ロボットを校内に搬入して実習する	カワサキロボットサービス株式会社
データ通信工学	光ファイバーケーブルの接続(クロージャー・融着)技術の実習、電柱・梯子の昇降・屋根への昇降実習、光プレミアムPCセットアップ実習を行い、学内では体験できない電気通信建設業での実務を体験する。	(社)情報通信エンジニアリング協会

## 3. 教員の研修等

(教員の研修等の基本方針)

(一社)大阪府専修学校各種学校連合会の主催する教職員のための指導力向上講座や外部団体・企業・大学等が主催する講習、講演について事務局が全員に周知・奨励を行っている。  
希望者がいない場合は担当課長が指名して参加者を決める。

参加費用は全額学校が負担している。

## 4. 学校関係者評価

(学校関係者評価委員会の全委員の名簿)

平成29年5月26日現在

名 前	所 属
宮崎 吉雄	トナミ電工(株)
増南 正	(有) スタジオ・マックス
石上 芳弘	イシウエヨシヒロ建築設計事務所
蔵敷 重壽	元 大阪市教育委員会事務局 高等学校教育課長
篠原 史規	(有) 車楽工房
西口 良一	東洋ビルメンテナンス株式会社
中野 聡	株式会社ジェイファスト
宮崎 雄次	大阪府電気工事工業組合

(学校関係者評価結果の公表方法)

ホームページに公表

URL: <http://www.nrj.ac.jp>

5. 情報提供

(情報提供の方法)

ホームページ・学校案内

URL: <http://www.kamei.ac.jp/>

授業科目等の概要

(工業専門課程電子・情報工学科) 平成29年度										
分類			授業科目名	授業科目概要	配当年次・学期	授業時数	単位数	授業方法		
必修	選択必修	自由選択						講義	演習	実験・実習・実技
○			物理	前期は半導体、後期は電子管の基礎的事項及び応用について学びます。項目として、電子の性質、電子放出、電子の運動、空間電荷効果、電子管、放電現象、応用として第2級陸上無線技術士試験問題が解答できる能力を身につけます。	1	117	3	○		
○			英語	英語教育を通して、国際感覚を身につけ、マニュアル等の未知の英文を自力で読破できる能力を身につけることが目的です。	1	78	2	○		
○			数学	因数分解、複素数の計算、2次方程式、不等式、三角関数、ベクトル、指数関数、対数関数、微分、積分などを学び、電気、電子の基礎解析に呼应し得る能力を身につけます。	1	156	4	○		
○			電気磁気学	静電気学及び、磁気学を中心に、クーロン力、電界、電位、静電容量、誘電体、電流と抵抗、磁界、電磁誘導、インダクタンス、磁性体を学ぶ	1	156	4	○		
○			電子工学 I	電子物理、電子回路、電子装置、電子応用の項目のうち、ここでは、電子物理、電子回路を中心に扱います。	1	156	4	○		
○			電気回路	交流回路の導入として、直流回路を学び問題を演習します。交流については、正弦波交流、インピーダンス交流、電力、相互誘導、ベクトル軌跡等を学ぶ。	1	156	4	○		
○			電気磁気測定	測定値の取扱、各種の指示電気計器、検流計の原理（電流、電圧、電力、位相、周波数、電気抵抗、インダクタンス、静電容量、波形、磁気）の測定法について学ぶ	1	195	5	○		
○			電波法規	電波の種類、各業務の運用、無線局免許、無線従事者の免許、各局の業務書類等を学びます。	2	39	1	○		
○			無線機器 I	AM・FMについての基本を包括的に解説します。また、電波航法について学びます。	2	78	2	○		

○		電子工学Ⅱ	電子回路の設計と製作実習を行う。	2	39	1			○
○		電気工学Ⅰ	第二種電気工事士国家試験科目に準じて配電理論、電気機器、工具、材料、施工法、法規、配電図、鑑別等を学びます。	1	39	1	○		
○		電波工学Ⅰ	空中線系の基礎的原理及び空中線の構造などを包括的に解説します。	2	39	1	○		
○		画像工学	最新のディスプレイの動作原理と基本構成及び動向について学びます。	2	39	1	○		
○		無線測定Ⅰ	各周波数帯における測定の基礎理論及び測定器について包括的に解説します。	2	39	1	○		
○		情報工学Ⅰ	Microsoft Word 及び Excel を用いて課題作成やプログラム制作を行います。また、計算機の基礎構成や動作の仕組みについて学ぶ	1	156	4	○		△
○		システムプログラミング	C言語を使い、コンピュータシステム等の構築をプログラミングします。	2	78	2	○		△
○		有線電気通信工学	主に、電話通信について概論的に講義を進めます。内容は、電送理論、電話機理論、通信網、交換方式、変調方式、中継方式、各種搬送電話方式（光ファイバーケーブルを含む）	1	39	1	△		○
○		データ通信工学	コンピュータに電気通信回路を接続して、データ処理とデータ伝送を一体として行う方式のについての実習を行う。	1	39	1	△		○
○		デジタル回路	デジタル回路の基礎である論理回路について学びます。基本項目としては、基数の変換、各種コード、ブール代数、KARNAUGH 図法、各種組み合わせ論理回路について学びます	1	78	2	○		△
○		実験実習Ⅰ/Ⅱ/Ⅲ/Ⅳ	基礎専門科目において学んだ理論を、さらに実験を行う事によって具体的に理解を深めていきます。	2	390	10	△		○
○		マルチメディア概論	マルチメディアの最先端について実習をまじえて学びます。	1	39	1	○		△

○	電子工学Ⅲ	基礎となる電気回路、電子回路、論理工学の知識を元にしてゲートICについての基本的特性、諸特性について講義します。また、基本的な回路を構成してその実習も行います。	2	78	2	○		△
○	無線機器Ⅱ	AM・FMについてより詳しく解説します。	2	39	1	○		
○	無線機器Ⅲ	第2級無線技術士の範囲のマイクロ波について詳説します。	2	39	1	○		
○	無線機器Ⅳ	特殊無線技士の範囲についてのマイクロ波工学を学習します。	2	78	2	○		
○	電気工学Ⅱ	第一種電気工事士国家試験科目に準じて配電理論、電気機器、工具、材料、施工法、法規、配電図、鑑別等を学びます。	2	39	1	△		○
○	電波工学Ⅱ	空中線系の応用原理及び空中線の構造などを詳細に解説します。	2	39	1	○		
○	無線測定Ⅱ	各周波数帯における測定の応用理論及び測定器について詳細に解説します。	2	39	1	○		
○	有線テレビジョン放送技術者法規	第2級有線テレビジョン放送技術者資格認定用の法規を学習します。	2	39	1	○		△
○	アナログ工学	オペアンプの原理と使い方を基本として、基本回路の理解と応用回路へのアプローチを実習を通して学習します。	2	39	1	△		○
○	制御工学	前期にはシーケンス制御を、後期にはフィードバック制御を、基本となる事項について、シーケンス制御とフィードバック制御の有機的結合を考慮しながら包括的に学習します。	2	39	1	△		○
○	オプトエレクトロニクス	光センサーに関する基礎知識である原理・特性を解説し、無線機器に組み込むための実装技術について学習します。	2	78	2	○		△
○	Webプログラミング	Webを運用するために必要な Javascript や CGI / SSI 技術などホームページの総合的なデザイン / プログラミングの基礎を学びます。	2	78	2			○

○	モバイル通信	移動体通信のあらましや、端末技術及びそれに関連する無線設備等の動作について学びます。	2	39	1	○		
○	デジタル放送	デジタル放送技術について学びます。	2	39	1	△		○
○	デジタル設計	演算回路や記憶回路など、実際に使用されるデジタル回路の設計制作を学習します。	2	78	2	△		○
○	デジタルオーディオ工学	デジタルオーディオ技術や圧縮技術について学びます。	2	39	1	○		
○	デジタルビデオ工学	デジタルビデオ技術について、原理から構造まで学びます。	2	39	1	○		
○	照明工学	テレビ舞台における照明の知識、映像音響における照明の効果等ライティングエンジニアとしての基礎知識を学びます。	2	39	1			○
○	音声／録音技術論	音響設備の性能、音響機器の特性、スタジオ、ホール、PAシステムの運用に必要な知識、ミキシング、ミックスダウン、トラックダウン等の録音技術について学びます。	2	78	2			○
○	映像／録画技術論	映像設備の性能、画面構成、視覚的効果、番組編成等の番組制作に必要な知識、カメラワーク、スイッチング技法、編集技法、特殊効果について学びます。	2	78	2			○
○	シナリオ基礎	シナリオの役割、特性、重要性を理解し、シナリオの見方、使い方を学びます。	2	39	1			○
○	アナウンス基礎	日本語、標準語、発声、音声表現方法などアナウンスの基礎を学び、音響映像制作における発声の重要性を習得する。	2	39	1			○
○	スタジオ施工技術	スタジオの構成、役割などを学びます。	2	39	1			○
○	写真技術論	写真技術やデジタル技術について学びます。	2	39	1			○



	○		広告論	広告の必要性・経済学、注目できる広告など幅広く学びます。	2	78	2		○	
	○		音楽通論	音楽の基礎理論とMIDIなどデジタルサウンドについて学びます。	2	78	2		○	△
	○		演出技法	テレビ番組制作の手順、用語、演出方法に関する知識を身につけます。	2	39	1		○	
	○		デザイン総論	デザインの技法・考え方などデザイン全般について学びます。	2	39	1		○	
	○		演習	技術者として社会に適應できる能力、常識・技術を学習します。	2	39	1		○	△
合計					50 科目		3627 単位時間 (89 単位)			